

震災時の水の確保のために

一人一人の水の確保が大切です！

地震直後に何より役に立つのは、くみ置きした水道水です。

水のくみ置き三つのポイント

◆ ふたのできる清潔な容器に口元いっぱい ◆

蛇口から直接水道水をペットボトルなどの容器に口元までいっぱいに入れてください。

◆ 目安は一人一日3リットル ◆

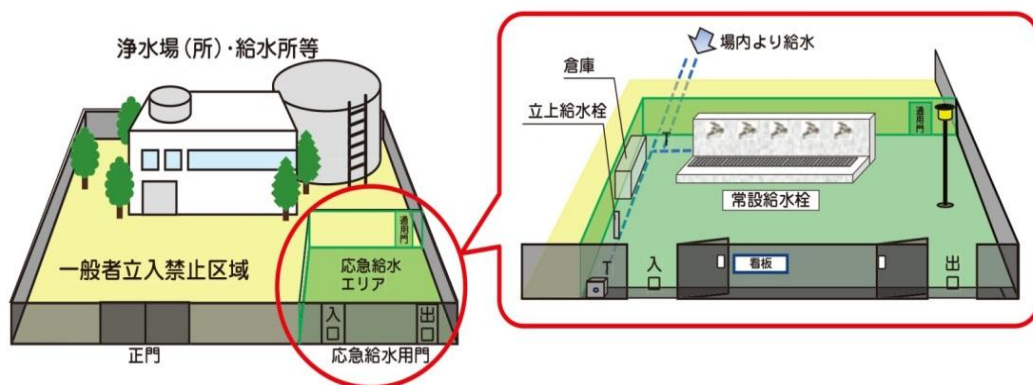
くみ置きの目安は、成人で一日3リットル。1歳未満の乳幼児は一日1リットルです。

◆ 保存は冷暗所で3日、冷蔵庫で10日 ◆

直射日光を避け暗く涼しい場所での保管は3日程度、冷蔵庫では10日程度です。



給水拠点はどうなっている？



整備後の応急給水拠点



◆ 応急給水エリアを仕切り柵で区分、専用の出入口を設置 ◆

◆ 蛇口をひねるだけで給水できる常設給水栓を設置 ◆

◆ 市町や自治会など「自助・共助」による応急給水活動が可能 ◆

大型看板が目印です

給水拠点には、目印となる
大型案内看板を設置しています。
(注: 看板がない拠点も一部あります。)

